

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サインテルネット海老名第2低温センター	階数	地上3F
建設地	海老名市今里三丁目1240番ほか	構造	S造
用途地域	準工業地域・建築基準法22条指定	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年4月 予定	評価の実施日	2011年7月4日
敷地面積	4,151 m ²	作成者	株式会社フジタ
建築面積	2,385 m ²	確認日	2010年7月8日
延床面積	6,296 m ²	確認者	株式会社フジタ



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 100%
 修繕・更新・解体: 88%
 運用: 88%
 オンサイト: 88%
 オフサイト: 88%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.5	Q3のスコア = 2.5
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性・信頼性: 3.0, 対応性・更新性: 4.1	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.8	LR2のスコア = 2.8	LR3のスコア = 3.1
建物の熱負荷: N.A., 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.0, 非再生材料の使用削減: 2.7, 汚染物質回避: 3.2	地球温暖化への配慮: 3.4, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
実質20%を超える平面緑化率を確保・建物後退距離の確保などを通し、敷地内の環境向上とともに、周辺環境にも配慮した配置計画・建物計画とした。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
倉庫であるので、全項目とも評価対象外となる。	階高にゆとりを持たせ、将来想定される様々な変更への対応を可能としている。	積極的な敷地内緑地環境の整備を実施。また、敷地西側をセットバックし公共緑地を設けることで、建物の圧迫感の軽減を図った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
照明設備に関してエネルギー利用効率を高めた計画を行い、省エネルギー性を高めた計画としている。	建物の乾式化などにより、資源の回収・再生利用が容易な建物となっている。	敷地西側をセットバックし公共緑地を設けることで、周辺環境に配慮した計画とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい